

重点的に取り組む事業の見直し箇所

第3章 施策の基本的方向

ここでは、今後10年間を通じて実現すべき本県教育の姿を見通した上で、平成20(2008)年度から平成24(2012)年度までの今後5年間に総合的かつ計画的に取り組むべき施策のうち、重点的に取り組む事業を示すとともに、各基本方針に属する項目ごとに、「現状」・「課題」・「今後の取組」を記載しています。

事業の実施に際しては、学校・家庭・地域など、社会全体の連携による取組や個人の発達段階に応じた校種間の連携など、一体的な推進に努めます。

また、個々の事業を単に実施するのではなく、関連の深い事業への波及や相乗的な効果を意識することにより、その事業効果を一層高める取組を進めるなど、各事業を重層的に推進します。

重点的に取り組む事業

この計画の基本目標を実現するため、特に重点的に取り組む事業は次のとおりです。

▽は平成23年度までに終了した事業です。

基本方針1 社会全体で取り組む教育の実現

[ ]内は従前目標

事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<p><b>1. 家庭教育に係る支援機能の充実</b></p> <p>●家庭の求めに応じた相談や情報提供など、地域における支援活動を行う家庭教育支援者の養成を推進します。</p> <p>○「家庭教育支援者養成講座」受講者数(累計)</p> <p>H19 1,268人 → H24 <u>1,600人</u> [1,550人]</p>	→	→	→	→	→
<p>●「徳島県子ども読書活動推進計画」の改定を行うとともに、読書ボランティアのネットワークを構築し、図書館や学校等との連携をさらに進めるなどにより、県民総ぐるみによる子どもの読書活動を推進します。</p> <p>○子どもの読書活動の推進に関するイベント参加者数(累計)</p> <p>H19 2,156人 → H24 <u>9,500人</u> [8,000人]</p>	→	→	→	→	→

事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<p><b>3. 地域教育に貢献する人づくり</b></p> <p>●子どもたちが安心して学べる安全な地域の学びの場をつくるための人材を養成します。</p> <p>○地域教育力再生コーディネータ養成講座受講者数（累計） H19 123人 → H24 390人</p> <p>●<u>学校・家庭・地域の連携を図り、学校を核とした地域の絆づくりや防災学習を推進するため、キーパーソンとなる「学校・家庭・地域の連携支援スペシャリスト」を養成します。</u></p>	推進				
	173	230	282	350	390
					→ 推進
<p><b>4. 地域ぐるみで学校運営を支援する体制の構築</b></p> <p>●中学校区を単位とする「<u>学校支援地域本部</u>」を核とし、「<u>地域コーディネーター</u>」や「<u>学校支援ボランティア</u>」を配置するなどにより、多様な学校支援活動を推進します。</p> <p>○「<u>学校支援地域本部</u>」の実施市町村数 H19 - → H24 全市町村</p> <p>●地域の既存の団体による連携、連合体を「<u>学校サポーターズクラブ</u>」として認証し、学校支援活動の一体感や気運を醸成し、地域による学校支援活動をさらに促進します。</p> <p>○<u>学校サポーターズクラブ</u>設置市町村数 H22 - → H24 <u>15市町村</u> [10市町村]</p>	設置 推進				
					→ 設置 推進 15市 町村
<p><b>5. 「<u>放課後子どもプラン</u>」の推進</b></p> <p>●「<u>放課後子ども教室</u>」の開設を促進し、学習、スポーツ、文化活動や地域住民との交流活動を行うことのできる安全・安心な子どもの活動拠点（居場所）づくりを推進します。</p> <p>○「<u>放課後子ども教室</u>」実施数 H19 39教室 → H24 80教室</p>	推進				

事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<p><b>6. 学校評価システムの構築の充実</b></p> <p>●地域に開かれ信頼される学校づくりを推進するため、自己評価を実施し結果を公表するとともに、保護者等による学校関係者評価を実施するなど、学校評価システムの充実・改善を図ります。</p> <p>○「学校関係者評価」実施率 (公立幼・小・中・高・特別支援学校) H19 32% → H24 100%</p>	推進				
<p><b>7. コミュニティ・スクールの推進</b></p> <p>●学校に「コミュニティ・スクール」を導入し、地域に開かれた学校づくりを進めます。</p> <p>○「コミュニティ・スクール」モデル校数 H19 2校 → H24 13校 (累計)</p>	推進 5	7	10	12	13
<p><b>8. 総合的な幼児教育の推進</b></p> <p>●幼稚園における預かり保育を充実するなど、「徳島県幼児教育振興アクションプラン」を踏まえた総合的な幼児教育の推進を図ります。</p> <p>○預かり保育実施率 (公私立) H19 67% → H24 84% [82%]</p>	推進				
<p><b>9. キャリア教育の推進</b></p> <p>●小学校では職場見学、中学校では職場体験、高等学校では就業体験など体験活動を実践し、児童生徒の発達段階に応じて社会的・職業的に自立するために必要な基盤となる能力の育成を図ります。</p> <p>○「キャリア教育の推進に向けて」の作成・推進 H23 作成・推進</p> <p>○高校におけるインターンシップの実施率 H22 66% → H24 68% [65%]</p> <p>○中学校における職場体験の実施率 H19 77% → H24 98% [95%]</p>	推進				

事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<u>10. 教育機会均等の推進</u> ●教育に係る家庭の教育費負担を軽減し、教育の機会均等を図ります。 ○公立高等学校の授業料不徴収等 H22より実施			推進		

基本方針2 未来にはばたく力をはぐくむ教育の実現

事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<p>1. <u>「徳島県学校改善支援プラン」の推進</u></p> <p>●「全国学力・学習状況調査」及び「徳島県学力調査」結果等を活用しながら、学校の教育活動の改善を推進し、児童生徒の学力向上及び学習状況の改善を図ります。</p> <p>○各学校が作成する「学力・学習状況」改善プランにおける数値目標の達成状況</p> <p>H19 -</p> <p>→ H24 「十分できた・概ねできた」学校の割合 87%</p> <p>▽各学校が実施する「学力向上に関する自己評価」の達成状況</p> <p>H19 -</p> <p>→ H22 「十分できた・概ねできた」学校の割合 100%</p> <p>○「全国学力・学習状況調査」における県平均正答率</p> <p>H24 全国平均正答率を上回る</p> <p>○授業以外での学習時間</p> <p>授業以外で1日30分以上勉強する児童生徒の割合</p> <p>H19 小5 81.8%，中2 83.2%</p> <p>→ H24 小5，中2とも5ポイント増加</p> <p>○学校以外での読書時間</p> <p>家や図書館で1日10分以上本を読む児童生徒の割合</p> <p>H19 小5 70.2%，中2 60.6%</p> <p>→ H24 小5，中2とも5ポイント増加</p> <p>○「<u>学校と地域のつながり</u>」をテーマとして<u>県民の方々とともに学校教育について考える場の設定</u> H24 開催</p> <p>2. <u>たくましい人づくりの推進</u></p> <p>●児童生徒自身が自分たちの生活や学習を振り返り、目標を立てて取り組む「阿波っ子すだち（巣立ち）宣言プロジェクト」を実施するなど、知・徳・体の調和のとれた「たくましい人づくり」を進めます。</p>	推進				→
			推進		→

事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<p>● 高校生の探究心や学ぶ意欲，将来の進路を考える力を育成し，学力向上へのモチベーションを高め，進路実現へとつなげるため，分野別の探究的な学習や外部講師の講演など，進路希望に合わせ，各学校・学科に応じた取組を進めます。</p> <p>※ 3. <u>小中一貫教育の推進</u></p> <p>● 小・中学校のよりスムーズな接続と学力向上を図るため，小中一貫教育についての研究を進め，成果を普及します。</p> <p>○モデル地域（累計） H19 3地域 → H24 <u>16地域</u> [12地域]</p> <p>4. <u>少人数学級編制の実施</u></p> <p>● 小・中学校において，各学年等の特性に応じ，少人数学級編制を実施します。</p> <p>○少人数学級（35人を上限とする学級編制）の推進 H19 小学1・2年 → H20 中学1年に新規導入 → H23 小学3年に新規導入 → <u>H24 小学4年に新規導入</u></p> <p>5. <u>少人数指導の充実</u></p> <p>● <u>少人数グループ指導やティームティーチング指導</u>のための教員配置を行います。</p> <p>○一定規模以上の学級を有するすべての小・中学校に少人数指導のための追加教員を配置 H19～H24 継続実施</p> <p>6. <u>退職教員等外部人材の活用</u></p> <p>● 退職教員や社会人等を小・中学校及び高等学校へ非常勤講師として配置し，社会経験を活かしたキャリア教育の補助や新学習指導要領実施への対応充実などにより，教員が子どもと向き合う時間を拡充し，児童生徒の実態や学校の実情に即した教育の展開を図ります。</p>			推進		
	推進				
	4	5	7		<u>16</u> [12]
	推進				
	推進				
	推進				

事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<p><u>7. 郷土の伝統文化を尊重する教育の推進</u></p> <p>●児童生徒が郷土の伝統文化にふれる機会を充実することにより、それらを大切にしようとする心をはぐくみます。</p> <p>○伝統文化を尊重する教育実践研究指定校（累計） H19 7校 → H24 22校</p>	推進				
<p><u>8. 保護者の有害環境対策フィルタリングの認知率</u></p> <p>●様々な機会を捉え、保護者に対してインターネットの危険性やフィルタリングの有効性についての理解を図ります。</p> <p>○保護者の有害環境対策フィルタリングの認知率 H19 - → H24 100% [H23]</p>	推進				
<p><u>9. スクールカウンセラー全校配置の推進</u></p> <p>●いじめ・不登校をはじめとする児童生徒の多様な悩みに対応するため、スクールカウンセラーの全公立小・中学校及び<u>県立学校</u>への配置の充実を図ります。</p>	推進				
<p><u>10. スクールソーシャルワーカー活用の推進</u></p> <p>●問題を抱えた児童生徒への支援のため、スクールソーシャルワーカーを設置することにより、医療・福祉分野の関係機関等との連携の強化を図ります。</p> <p>○スクールソーシャルワーカー数 H19 4人 → H24 9人 [8人]</p>	推進				
<p><u>11. 阿波っ子スクールサポートチーム（ASST）活動の充実強化</u></p> <p>●児童生徒の問題行動へ迅速に対応するため、関係機関等が連携し、児童生徒、学校及び保護者への支援を図ります。</p>	推進				

事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<p><b>12. 子どもの体力向上の推進</b></p> <p>●学校体育を充実させることはもとより、学校教育活動全体を通して体力向上の推進を図るとともに学校・家庭・地域が連携して、子どもに運動習慣や規則正しい生活習慣の定着化を図ります。</p> <p>○「体力アップ100日作戦！」達成率 H19 84% → H24 95%</p> <p>▽「子どもの体力向上支援プラン」の策定・推進 H21 策定</p> <p>○「運動が好きな児童生徒」の割合 小5 H22 65.3% → H24 70.0% 中2 H22 52.3% → H24 58.0%</p>					
<p><b>13. 学校体育における安全確保</b></p> <p>●<u>体育授業や運動部活動における事故防止に対する意識や危機管理対応能力を高め、学校体育における安全確保に取り組めます。</u></p> <p>○<u>事故防止に向けた研修会の開催 H24 4回</u></p> <p>○<u>柔道実施校(中学校)への外部指導者の派遣 H24 22校</u></p>					→ 推進
<p><b>14. 学校保健の充実</b></p> <p>●退職養護教諭を<u>スクールヘルスリーダー</u>として養護教諭未配置校に定期的に派遣するとともに、子どもの健康課題を抱える学校に専門医を派遣し、学校保健の充実を図ります。特に、望ましい生活習慣の定着を図り、児童生徒の肥満予防・肥満対策、生活習慣病予防対策を推進します。また、各学校で家庭、地域と連携して学校保健委員会を開催します。</p> <p>▽<u>スクールヘルスリーダー派遣回数</u> H19 - → H24 90回(累計)</p> <p>○<u>専門医派遣回数</u> H21 67回 → H24 <u>128回</u>(累計) [120回]</p> <p>※ ○<u>肥満傾向児</u>の出現率の低減を推進</p>					→ 推進



事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<p><u>15. 学校食育の推進</u></p> <p>●「<u>徳島県学校食育指導プラン</u>」に基づき、学校における食育の指導体制を整備し、学校食育の推進を図ります。</p> <p>▽食育全体計画の策定</p> <p>H20 すべての小・中・高・特別支援学校において策定</p> <p>○栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導実施校数</p> <p>H22 123校 → H24 220校</p>	推進				
<p><u>16. 学校給食における地場産物の活用</u></p> <p>●学校給食が生きた教材として活用されるよう、学校給食における地場産物の活用を推進します。</p> <p>○学校給食における地場産物活用率</p> <p>H19 50% → H24 60%</p>	推進				
<p><u>17. 理解・啓発の推進</u></p> <p>●特別支援学校と地域の学校、特別支援学級と通常の学級による交流及び共同学習等を一層促進します。</p> <p>○特別支援学校と交流及び共同学習等を実施している学校及び団体数</p> <p>H19 88校・団体 → H24 130校・団体</p>	推進				

事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<p><u>18. 一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援の充実</u></p> <p>●特別な支援を必要とする幼児・児童生徒一人ひとりに対して「<u>個別の指導計画</u>」や「<u>個別の教育支援計画</u>」を作成することにより、きめ細かい支援を推進します。</p> <p>○作成している学校の割合 「個別の指導計画」 H19 47% → H22 100% 「個別の教育支援計画」 H21 85% → H24 <u>97%</u> [93%]</p> <p>●特別な支援を必要とする生徒が在籍する県立高等学校に<u>特別支援教育支援員</u>を配置し、学校生活の充実及び不適応状態の予防改善を図るとともに、学校全体による支援体制の構築を図ります。</p>					
<p><u>19. 特別支援学校における支援の充実</u></p> <p>●障害のある生徒の自立と社会参加を目指し、特別支援学校の教員が県内事業所等を訪問することにより、就労先や進路先の拡充に努めます。</p> <p>○事業所等訪問回数 H19 833回 → <u>H24 1,100回</u> [H23 1,000回]</p> <p>●<u>発達障害等のある幼児・児童生徒の社会的・職業的自立に向けて、みなと高等学園を中核とした全県支援ネットワークを構築するとともに、特別支援学校がセンター的機能を発揮し、幼稚園、小・中学校、高等学校に在籍する特別な支援を必要とする幼児・児童生徒に対して一貫した支援を推進します。</u></p> <p>○巡回相談員等の支援回数 H22 2,165回 → H24 2,300回</p>	推進				
					推進

事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<p><u>20. <sup>*</sup>通級指導教室による支援の拡大</u></p> <p>●通級指導教室を計画的に設置することにより、通級による指導を受けることができる体制の整備に努めます。</p> <p>○通級指導教室の設置数 H19 小学校・聾学校に23教室 → H24 中学校にも拡大</p>	推進				
<p><u>21. 盲学校・聾学校の改築</u></p> <p>●時代の変化に対応し、それぞれの障害に応じた専門的な教育をより一層推進する「新しいかたち」の学校として、現盲学校の敷地において、盲学校と聾学校の改築を進めます。</p> <p>○盲学校・聾学校の改築 H19 推進 → H23 工事</p>	基本計画	設計		工事	工事
<p><u>22. みなと高等学園（<sup>*</sup>高等養護学校）の整備</u></p> <p>●「ハナミズキプロジェクト」の一環として、病弱等を伴う発達障害等の生徒に対して教育的支援を行う、みなと高等学園（高等養護学校）の整備に向けた取り組みを推進します。</p> <p>○<u>みなと高等学園</u>の整備 H19 推進 → H24 開校</p>	設計		工事		開校
<p><u>23. 特別支援学校の適正配置の推進</u></p> <p>●障害のある幼児・児童生徒が、可能な限り地域の身近な場で専門的な教育を受けることができるよう、特別支援学校の全県的な適正配置を推進します。</p> <p>▽国府養護学校池田分校の本校化 H22 (池田支援学校)</p> <p>▽池田支援学校美馬分校の開校 H22</p>	推進			開校	開校

事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<p><u>24. 特別支援学校等の教員に求められる専門性の向上</u></p> <p>●特別支援学校教諭免許状保有率の向上を図ります。</p> <p>○特別支援学校に勤務する教諭の「当該学校が対象とする障害種に対応した免許状」の保有率 H19 75% → H24 80%</p>					
<p><u>25. 「新<sup>※</sup>学校版環境ISO」の認証取得の推進</u></p> <p>●児童生徒・教職員が一体となった体験的・実践的な環境学習を推進する「学校版環境ISO」の取組をステップアップさせた「新学校版環境ISO」認証取得の促進を通じ、学校と地域(家庭を含む)がより一層連携した環境学習を推進します。</p> <p>○「新学校版環境ISO」及び「学校版環境ISO」認証取得校数 H19 96校 → H24 240校 [220校]</p>					
<p><u>26. 学校を拠点とした環境教育の推進</u></p> <p>●学校施設の屋上緑化やLED照明の活用等、学校のエコスクール化<sup>※</sup>を図ることにより、学校を拠点とした環境教育を推進します。</p>				推進	
<p><u>27. 国際理解教育の推進</u></p> <p>●諸外国の学校と姉妹校の提携、教育旅行の受入、テレビ会議の開催などの交流を進めるとともに、体験的学習・課題学習、多様な外国語学習を通して、国際的な視野に立って行動できる児童生徒を育成します。</p>					

事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<p><u>28. 小学校外国語活動の円滑な導入・実施</u></p> <p>●小学校外国語活動をサポートする人材を小学校へ配置するなど、平成23年度から完全実施される小学校外国語活動の円滑な導入・実施に取り組みます。</p>		推進			→
<p><u>29. 情報教育の推進</u></p> <p>●児童生徒の情報活用能力の育成や、各教科等の目標を達成するために、教職員研修の充実と啓発、<u>教育用コンテンツの充実</u>などを通じて、教員の<u>ICT活用指導力の向上</u>を図ります。</p> <p>○ICTを活用して指導できる教員の割合 H18 60% → H24 100%</p>	推進				→
<p><u>30. 学校情報化の推進</u></p> <p>●<u>県立学校において、総務事務システム、学校支援システムを導入することにより、教職員の校務負担を軽減し、教職員が生徒と向き合う時間を増加させ、魅力ある学校づくりを推進します。</u></p>				推進	→

基本方針3 信頼される教育環境の実現

事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<p><u>1. 「併設型<sup>*</sup>中高一貫教育校」の全県展開</u></p> <p>● 中学校と高等学校の6年間を通して、生徒の個性や能力を伸ばす中高一貫教育を推進します。</p> <p>▽ 「併設型中高一貫教育校」の全県展開 H19 2校 → H22 3校</p>	推進		開校 推進		
<p><u>2. 徳島科学技術高等学校の開校</u></p> <p>● 高度情報化などの様々な社会の変化や科学技術の高度化・複合化に対応できる人材を育成することをめざす新しいタイプの高等学校として「徳島科学技術高等学校」を設置します。</p> <p>▽ 徳島科学技術高等学校の設置 H21 開校</p>		開校			
<p><u>3. オンラインハイスクールの育成</u></p> <p>● 学校の新たな伝統ともいえる「スクールアイデンティティ」を創成することにより「地域の教育・文化の創造拠点」として、<u>地域貢献を行う学校を育成するとともに、全国に発信できる徳島ならではの取組みを行う日本のオンラインハイスクールを目指します。</u></p>	推進				
<p><u>4. 高校再編の推進</u></p> <p>● 各高等学校が将来にわたり多様な教育や部活動を実施し、活力ある教育活動を展開していくため、地域の知恵を活かしながら県下7地域で高校再編を進めます。</p> <p>○ 再編の計画策定 H19 2地域 → H21 7地域</p> <p>○ 上記の計画に基づく新しい学校の設置</p> <p>H24 鴨島商業高等学校・阿波農業高等学校を統合した吉野川高等学校の開校</p> <p>H24 鳴門第一高等学校・鳴門工業高等学校を統合した鳴門渦潮高等学校の開校</p> <p>H26 貞光工業高等学校・美馬商業高等学校を統合した新しい高等学校の開校</p>		策定			
	推進				開校
		推進			開校
	推進				

事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<b>5. 専門教育の活性化</b> ●農業・商業教育の活性化を図るため、高校における農業教育，商業教育の活性化プランを策定し，学校再編や，中心校を核としたネットワーク化による役割分担と連携強化などに取り組みます。  ●産業技術の進展や社会が求める人材の育成を図るため，産業界や大学，県の研究機関と連携し，専門教育の充実に取り組むとともに，学科の異なる専門高校が連携する高度な教育を推進します。			策定	推進	→
				推進	→
<b>6. 私立学校の振興</b> ●私立学校運営費補助金及び高等学校等授業料軽減事業補助金の交付により，私立学校の健全な発達，低所得世帯の私立学校での修学を支援します。  ●私立学校の特色づくり，魅力アップ，子育て支援とともに，地域貢献を促進し，情報発信力の強化を支援します。  ●教育施策や取組が最大の効果を発揮するよう，公私立学校間での意思疎通を活性化し，連携・機能分担を強化します。	支援				→
	支援				→
	促進				→

事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<p><b>7. 教職員の資質の向上</b></p> <p>● 教員に必要な資質能力を育成するための基本研修となる初任者研修，教職3年経験者を対象とした授業力向上研修，教職5年次研修，10年経験者研修と主幹教諭・指導教諭を対象としたリーダーシップ養成研修を実施し，教育力の向上を図ります。</p> <p>● <u>基本研修等においてコンプライアンス研修を計画的に実施するとともに，各公立学校に配置されているコンプライアンス推進員を牽引役としてコンプライアンス意識のより一層の醸成に取り組みます。</u> ○ <u>コンプライアンス研修会の実施</u> H24 各所属年間3回以上</p> <p>● 心に悩みを持つ教職員に対する精神科医等による相談事業や，学校全体でサポートするための*メンタルヘルスマネジメントセミナー等を実施します。</p> <p>● 平成20年度から制度化された特定健康診査・特定保健指導に積極的に対応するなど，教職員の健康の保持増進を図ります。</p> <p><b>8. 安全・安心な学校づくり</b></p> <p>● 災害に強く，使いやすい，安全で安心な学校施設を整備するために小・中・高等学校の耐震化を推進します。 ○ 県立高等学校施設耐震化率 H19 42% → H24 80% (H27 100%)  ○ 小・中学校施設耐震化率 H19 41% → H24 85%</p>					
	推進				
	推進				
	推進				
	推進				



事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<p>●「拠点避難所」となる県立学校等の整備を推進します</p> <p>9. <u>学校安全ボランティア(スクールガード)活動の充実</u>            ●スクールガードリーダーによる巡回指導と評価を推進し、すべての小学校区における、スクールガードによる巡回活動等の充実を図ります。            ○スクールガードリーダー委嘱人数            H19 24人 → H24 44人</p> <p>10. <u>学校体育における安全確保(再掲)</u>            ●<u>体育授業や運動部活動における事故防止に対する意識や危機管理対応能力を高め、学校体育における安全確保に取り組みます。</u>            ○<u>事故防止に向けた研修会の開催 H24 4回</u>            ○<u>柔道実施校(中学校)への外部指導者の派遣 H24 22校</u></p> <p>11. <u>防災教育の充実</u>            ●防災教育推進モデル校を指定し、各学校で、児童生徒一人ひとりの実践的防災対応能力の向上を図るとともに、県内すべての小・中・高・特別支援学校における防災教育の充実を図ります。            ▽防災教育推進モデル校数            H19 18校 → H21 24校            ○学校と地域の自主防災組織等の連携を図る「あわ防災推進事業」の実施            ○学校における防災教育の充実            H24 すべての小・中・高・特別支援学校で推進            ○県立学校における「<u>防災クラブ</u>」の設置            H21 - → H24 10校</p>					→ 推進
	推進				→
					→ 推進
	推進				→
				5校	10校

事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<p><b>12. 教育の組織運営体制等の充実</b></p> <p>●新たに<sup>※</sup>副校長、<sup>※</sup>主幹教諭及び<sup>※</sup>指導教諭を学校に置くことにより、学校の抱える課題に対して、迅速かつ的確に対応する組織運営体制や指導体制の改善・充実を図ります。</p> <p>○副校長等の新たな職の設置</p> <p>H20 設置</p>					
<p>●<u>本県教育のめざすべき方向を明らかにし、その実現に向けた施策を総合的かつ計画的に推進するため、新たな「徳島県教育振興計画」を策定します。</u></p>	設置				策定

基本方針4 人権尊重社会をめざす教育の実現

事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<p><u>1. 「“あわ”人権学習ハンドブック」の活用促進</u></p> <p>●「“あわ”人権学習ハンドブック」の活用促進を図り、指導内容・指導方法の改善・充実を進めます。</p>	推進				
<p><u>2. 人権教育研究校の指定</u></p> <p>●幼稚園，小学校，中学校，高等学校，特別支援学校を人権教育研究校に指定し，実践的な研究を進めるとともに，研究成果の普及を図ります。</p> <p>○研究指定校</p> <p>県指定 幼・高・特別支援学校 毎年度各2校 文部科学省指定 小・中学校 毎年度各2校</p>	推進				
<p><u>3. 児童生徒の自主的な活動の推進</u></p> <p>●人権に関する作品等を募集するなどして，児童生徒の人権問題の解決に向けた自主的な活動を推進します。</p> <p>▽ふれあい人権劇発表会への応募作品数 H19 - → H24 100 (累計)</p> <p>▽「心にひびく とっておきのエピソード」への応募作品数 H20 - → H23 6,000 (累計)</p> <p>○<u>ありがとうございます伝えたい「私からの手紙」への応募作品数</u> H24 1,000</p> <p>○中・高生による人権交流集会への参加者数 H19 500人 → H24 3,000人 (累計)</p>	推進				
<p><u>4. 生涯にわたる学習機会の充実</u></p> <p>●人権に関する交流会，研究会の開催や人権に関する作品募集等を行い，生涯にわたる人権教育の学習機会の充実を図ります。</p> <p>○大学生の人権サカと子どもたちとの交流を図る「<u>あったかハートつながり隊・ひろがり隊</u>」の派遣回数 H21 - → H24 36回 (累計)</p>	推進				

事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<p><u>5. 指導者の養成と資質の向上</u></p> <p>●学校や地域社会における指導者の養成と資質の向上を図ります。</p> <p>○人権教育指導員の派遣回数 H19 300回→H24 1,800回(累計)年間300回</p> <p>○社会教育における人権教育推進者の養成数 H19 40人 → H24 320人(累計)</p>					
	推進				

基本方針5 みんなが学べる生涯学習社会の実現

事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<p><u>1. 「徳島県立総合大学校」の学習支援機能の充実</u></p> <p>●県が実施する様々な講座や各種施設の情報提供をワンストップで行うとともに、学習機会のさらなる充実を図るなど、県民のニーズに応じた学習を総合的に支援します。</p> <p>▽生涯学習情報システムへのアクセス件数 H19 約50万件 → H24約80万件</p> <p>○生涯学習情報システム指導者・団体新規登録数（累計） H23 30件 → H24 60件</p>	開校 推進			30件	60件
<p><u>2. 人材の育成と有効活用</u></p> <p>●県立総合大学校の開校に伴い、「とくしま学博士」の認定や人材登録の制度を創設し、地域における生涯学習のリーダーの育成や、地域に貢献できる人材の有効活用を図ります。</p>	創設 推進				
<p><u>3. 大学との連携による学芸員養成科目の開講</u></p> <p>●文化の森と四国大学、徳島大学及び鳴門教育大学の県内3大学との連携による学芸員養成科目を開講します。</p>					開講
<p><u>4. 文化の森総合公園文化施設の機能充実</u></p> <p>●常に新鮮で、より多くの県民に親しまれる魅力ある事業の実施等に努めます。</p> <p>○各文化施設入館者総数（累計） H19 1,390万人 → H24 1,800万人</p>	実施				
	1470万	1550万	1630万	1710万	1800万
<p><u>5. とくしまネットワーク図書館の構築</u></p> <p>●県立図書館を核とした県下図書館の連携による「とくしまネットワーク図書館」により、地域格差のない図書館サービスを提供します。</p> <p>▽とくしまネットワーク図書館の構築 H22 構築</p> <p>○市町村立図書館等への貸出冊数(累計) H21 2万冊 → H24 8万冊 [7万冊]</p>	検討		構築	推進	
		2万	4万	6万	8万

事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<p><b>6. 図書館機能の活用</b></p> <p>●「まなびの森」講演会の開催，関西広域圏の図書館等との交流企画展等の実施など，図書館の情報発信力を高め，図書館の多角的な機能の活用を進めます。</p> <p>○図書館企画事業数（累計） H20 50回 → H24 280回</p>			推進		→
			150	230	280
	<p><b>7. 博物館と学校との連携</b></p> <p>●子どもたちが郷土の自然や歴史・文化に対して理解を深めることができるよう，学校の授業への講師派遣や学校への博物館資料の貸出など学校教育支援を行い，博物館と学校の連携を進めます。</p> <p>○学校の授業への講師派遣回数（累計） H20 27回 → H24 130回 [120回]</p>			推進	
			79	100	130
<p><b>8. 県立鳥居龍蔵記念博物館の移転・整備</b></p> <p>●鳥居龍蔵博士の功績を広く紹介するため，県立鳥居記念博物館を文化の森総合公園へ移転整備します。また，鳥居蔵博士に関係する博物館や研究機関等と連携し，資料調査等を行い，ミュージアムネットワークを形成することにより，徳島発のアジア学を発信します。</p> <p>▽県立鳥居龍蔵記念博物館の開館 H22 開館</p> <p>○ミュージアムネットワーク連携機関数(累計) H22 2機関 → H24 5機関</p>	開設準備		開館連携	推進	→
				2	3

基本方針6 豊かなスポーツライフと人・地域が輝く「あわ文化」の実現

事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<p><b>1. 生涯スポーツの推進</b></p> <p>●「徳島県スポーツ振興基本計画」の着実な推進を図ります。また、県民をはじめ、各市町村、各スポーツ関係団体等の理解と協力のもと、「生涯スポーツ」、「競技スポーツ」を振興し、「学校における体育・スポーツ」の充実を図ります。</p> <p>○「徳島県スポーツ振興基本計画」の見直し H24 策定・推進 [H22 見直し]</p> <p>●「<sup>*</sup>とくしまスポーツ憲章」を制定し、県民挙げてスポーツに親しむ気運を醸成し、「とくしまスポーツ王国づくり」の実現をめざします。</p> <p>●地域住民が主体となって設立する<sup>*</sup>「<u>総合型地域スポーツクラブ</u>」の育成を支援するとともに、スポーツを活用した健康づくりの体制を整備し、みんなが楽しめる生涯スポーツの普及を図ります。</p> <p>○総合型地域スポーツクラブの設立数 H19 21クラブ → H22 28クラブ</p> <p>○健康づくり実践プログラムの作成・推進 H21 作成</p> <p>●「する」「見る」「支える」など多様なスポーツへの取り組みを推進するため、「<u>スポーツ王国とくしま推進会議</u>」による、<u>だれもが楽しめるスポーツイベント</u>などへの助成や情報発信を行います。</p> <p>○イベント等助成数 H19 10件 → <u>H24 100件(累計)</u> [H23 80件(累計)]</p>					
	推進		見直	見直	策定 推進
	推進				
	推進				

事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<p>●鳴門渦潮高校を、本県スポーツの拠点校として、県体育協会、各種競技団体、大学等との連携や、鳴門・大塚スポーツパークの運動施設の活用などにより、体育に関する講習会やスポーツ教室を開催し、生涯スポーツの担い手となる人材を育成します。</p> <p>○中学生が体験する育成プログラムの受講人数 H24 30人</p> <p>○セミナー等の開催 H24 10回</p>				準備	開校 推進
<p><u>2. 競技力向上対策の推進</u></p> <p>●競技スポーツの重点強化による成果志向型の選手強化を図り、競技力の向上を進めます。</p> <p>○国民体育大会天皇杯順位 H19 47位 → H24 30位台 [H23]</p>	推進				
<p>●「競技力向上スポーツ指定校制度」により、有力選手を特定の公立高等学校へ集め、指導者の体制を整備するとともに、中学校と高等学校の連携を進めるなど、競技力の基盤強化を図ります。</p> <p>▽中学校と高等学校の連携による競技力向上連携ゾーン数 H19 1 → H22 16</p> <p>○全国高等学校総合体育大会の入賞(団体・個人)数 H22 - → H24 12</p>	推進				
<p>●平成24年度に開校する鳴門渦潮高校に、本県初となる体育科を設置し、本県スポーツの拠点校として、より高度で質の高いスポーツ教育を行うために必要な施設・設備の整備を図ります。</p> <p>○鳴門渦潮高校の設置 H24 開校</p>			整備		開校 整備



事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<p>●平成24年4月に本県初となるスポーツ科学科を設置して開校する鳴門渦潮高校において大学や各種団体等と連携し、セミナー・講習会等を開催するなどスポーツ拠点機能の充実を図り、国体・インターハイ等の全国大会で活躍できる選手を育てます。</p> <p>○スポーツ科学分析機器を活用した、科学的なサポートの実施人数 H24 延べ300人</p> <p>○中学生が体験する育成プログラムの受講人数(再掲) H24 30人</p> <p>○セミナー等の開催(再掲) H24 10回</p>					→ 推進
<p>●全国・国際大会において優秀な成績を挙げた選手や指導者を称えることで、スポーツ人口の増加や新たなスポーツ文化の形成を進めます。</p> <p>○徳島県スポーツ賞の推進 H20 創設</p>	推進				→
<p>3. <sup>*</sup>文化財の保護・保存と活用</p> <p>●文化財保護に携わる人材の育成を推進します。</p> <p>▽文化財マイスター修了生数 H19 18人 → H21 60人(累計)</p>	推進				→
<p>●ふるさとの伝統文化の保存・継承に向けた取り組みを推進します。</p> <p>▽「発見!ふるさとの伝統文化」受講者数 H20 - → H22 200人(累計)</p>		推進			→
<p>●各地域の保存団体等が実施する体験教室など地域の子どもたちを対象とする伝統文化への取り組みを支援し、伝統文化の継承を図ります。</p>			推進		→

事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<p>●国指定文化財を保全し、活用する取り組みを推進するなかで、地域の活性化を図ります。</p> <p>○国指定文化財（<u>史跡含む</u>）の指定選定数 H19 9地区（うち史跡7地区） → H24 13地区（うち史跡10地区）</p>	推進				
<p>●徳島を代表する歴史文化遺産である「勝瑞城館跡」の整備事業を、国・県・町の役割分担に基づき支援します。</p> <p>○勝瑞城館跡整備面積 H19 0㎡ → H24 約20,000㎡</p>	推進				
<p><u>4. 「いにしえ夢街道」の構築</u></p> <p>●国指定史跡や周辺の文化財をつなぎ合わせて、各地の博物館・資料館と連携しながら、文化財を活かした地域づくりを進めます。</p> <p>○文化財ボランティア養成人数（累計） H19 63人 → H24 165人</p> <p>▽アワコウコ楽マイスター参加者数（累計） H19 82人 → H22 160人</p> <p>○いにしえ夢街道活用ゾーン数（累計） H22 4ゾーン → H24 6ゾーン</p>	推進				
<p><u>5. 学校への芸術家等派遣の推進</u></p> <p>●小・中・高等学校等に、芸術家や伝統芸能の保持者などを派遣し、講話や実技披露などを行うことによって、豊かな心と感性をはぐくみます。</p> <p>○学校への芸術家等派遣回数（累計） H19 132回 → H24 <u>520回</u> [400回]</p>	推進				
<p><u>6. 国民文化祭関連事業の開催</u></p> <p>●<u>国民文化祭の開催に合わせて、文化の森総合公園各館において、関連する企画展等を開催します。</u></p>					開催

事業名・事業概要・数値目標	年度別実施計画				
	H20	H21	H22	H23	H24
<p><u>7. 高等学校総合文化祭の開催・参加</u></p> <p>●全国高等学校総合文化祭や、近畿高等学校総合文化祭、徳島県高等学校総合文化祭に積極的に取り組み、充実を図ります。</p> <p>▽近畿高等学校総合文化祭の開催</p> <p>H19 準備 → H20 開催・参加者6,000人</p>					
	開催 推進				